小・中学校再編にかかる地区意見交換会（渡町台会場）

１ 日時　　令和８年１０月１６日（金）　１９時～１９時４５分

２ 場所　　渡町台地域コミュニティセンター

３ 参加者　　９人

４ 事務局　　都留教育長、神崎教育部長、御手洗教育総務課長、吉田学校教育課長
　　教育総務課職員　４人、学校教育課職員　２人

５ 次第

（１）開会

（２）教育長あいさつ

（３）教育部長あいさつ

（４）佐伯市立小・中学校再編（案）について
- 今回の説明会の趣旨とこれまでの経過
- 小・中学生の現状と今後の見通し
- 学校の再編に関するアンケート調査結果について
- 学校再編することのメリット・デメリット
- 適正な学校規模の考え方
- 小・中学校再編（案）
- 中学校再編後の学校規模
- 小学校再編後の学校規模
- 小・中学校再編までのスケジュール案

資料を基に上記の項目等について説明

（５）質疑応答

（６）意見交換

（７）閉会

6 質疑応答・意見交換の内容

（1）質疑応答

※個人が特定されるおそれのある発言等については、個人情報保護の観点から、一部を編集・省略して掲載しています。

発言者	発言内容
参加者	本匠小・中学校のように小規模特認校として存続する学校では、地域資源を活かした体験学習など、小規模校ならではの特色ある教育活動がメディア等でも紹介されています。こうした小規模校独自の魅力的な取組を市内全域へ広く横展開していくことができれば、佐伯市の学校教育の特色として全国的にも大きくアピールできるのではないかと考えます。
事務局	本匠小・中学校の取組をご評価いただきありがとうございます。本匠地区においては、学校・家庭・地域が連携するコミュニティ・スクールと、市長部局所管の本匠地域コミュニティ協議会が緊密に連動しており、少人数であっても地域全体で子どもたちを育てるという強い熱意と覚悟のもとで特認校としての活動が成り立っている背景がございます。特色ある教育活動の良さは大切にしつつも、義務教育において多様な集団の中で切磋琢磨し学んでいく教育環境を確保することも極めて重要であると考えております。
参加者	学校が統合された場合、現在運営されている放課後児童クラブはどのようになるのでしょうか。
事務局	放課後児童クラブにつきましては、学校が統合されたからといって直ちに地元の児童クラブが廃止されるというルールはございません。放課後児童クラブは地域の利用ニーズや施設の受け入れ定員等を総合的に考慮して運営されるものですので、現時点で統合対象校の児童クラブの廃止や存続があらかじめ決まっているわけではございません。今後のあり方につきましては、利用状況や保護者のニーズを踏まえながら、担当部署と協議・検討を進めてまいります。
参加者	佐伯小学校の校区においては、中学校へ進学する際に鶴谷中学校と佐伯城南中学校の 2 校へ進学先が分かれる地域があります。他の多くの小学校では持ち上がりで同じ中学校へ進学できるのに対し、少人数のグループで別の中学

	校へ進むことになる佐伯小学校の児童にとっては、進学時に大きな不安や大人数の学校へ進むことへの心理的プレッシャーを感じる懸念があります。今回の学校再編を契機に、例えば中学校進学時に分かれることのないよう、小学校再編の段階で最初から通学区域を分けるなど、子どもたちが進学時に不安を抱かないような学区の見直しを検討してはどうでしょうか。
事務局	佐伯小学校の進学先が鶴谷中学校と佐伯城南中学校に分かれている現状につきましては、児童の心理的な負担や通学区域のあり方として以前から議論がある重要な課題と認識しております。今回の再編案を契機として、今後佐伯小学校区での説明会等においても同様のご意見をいただくことが予想されます。通学距離や通学路の安全性などを総合的に考慮しながら、進学先を一本化すべきか、現状の距離を重視すべきかなど、地域の皆様のご意見を伺い、検討協議会へ持ち帰って慎重に議論を深めてまいります。

（2）意見交換

意見交換の時間においては、会場からの発言はなく閉会となりました。